

芽室町総合体育館改修工事

機械設備工事
(令和6年度分)

2024・04

章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項																																																																																																																																																																				
● 工事概要	<p>▶1. 工事種目</p> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>新設</th><th>改修</th><th>撤去</th><th>備考</th></tr> <tr><td>冷暖房設備工事</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>換気</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>床暖房</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>給油</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td>地下貯油槽、オイルサービスタンは既存使用</td></tr> <tr><td>自動制御</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>給水</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td>機械室受水槽廻り給水配管更新工事</td></tr> <tr><td>排水</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>給湯</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>衛生器具</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>消火</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>ガス</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>太陽熱</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>循環ろ過</td><td>○</td><td>●</td><td>○</td><td></td></tr> </table> <p>※科目は●印を付したものを適用する</p>	名称	新設	改修	撤去	備考	冷暖房設備工事	○	●	○		換気	○	●	○		床暖房	○	●	○		給油	○	●	○	地下貯油槽、オイルサービスタンは既存使用	自動制御	○	●	○		給水	○	●	○	機械室受水槽廻り給水配管更新工事	排水	○	●	○		給湯	○	●	○		衛生器具	○	●	○		消火	○	●	○		ガス	○	●	○		太陽熱	○	●	○		循環ろ過	○	●	○		<p>4) 冷暖房設備調整</p> <table border="1"> <tr><th>外径</th><th>6.35</th><th>9.52</th><th>12.70</th><th>～50.80</th></tr> <tr><th>被覆厚</th><td colspan="4">製造者仕様</td></tr> </table> <p>5) 排気筒</p> <p>6) 消音内貼り</p> <p>7) 塗装</p> <p>8) 4. 3) 外及び 4) 付着品</p> <p>9) 1) ダクト</p> <p>10) 2) チャンパー等</p> <p>11) 3) 防音フード</p> <p>12) 4) 排気フード</p> <p>13) 5) セルフード</p> <p>14) 6) 風量測定口</p> <p>15) 7) 射気口</p> <p>16) 8) 吹出口・吸込口</p> <p>17) 9) 貫通部の処理</p> <p>18) 1) 穴埋修繕</p> <p>19) 2) 防火区画の処理</p> <p>20) 3) 吊り及び支持</p> <p>21) 4) スリッパ</p> <p>22) 5) 折り及び穴あけ</p> <p>23) 6) 耐震措置</p> <p>24) 7) 総合調整</p> <p>25) 8) 仮設工事</p> <p>26) 9) 土工事</p> <p>27) 1) 管周囲の保護</p> <p>28) 2) 埋戻し土</p> <p>29) 3) 建設発生土等の処理</p> <p>30) 4) 地業工事</p> <p>31) 1) 砂利地業</p> <p>32) 15) コンクリート工事</p> <p>33) 1) コンクリート強度</p> <p>34) 2) ダクト</p> <p>35) 1) 配管洗浄</p> <p>36) 2) 保温</p> <p>37) 1) 配管</p>	外径	6.35	9.52	12.70	～50.80	被覆厚	製造者仕様				<p>● 空調設備</p> <p>▶1. 冷暖房方式</p> <p>▶2. 主要熱源機器及び付属機器</p> <p>▶3. ばい煙測定計</p> <p>▶4. 燃焼器</p> <p>▶5. 換気方式</p> <p>▶6. 排煙方式</p> <p>▶7. 排煙口</p> <p>▶8. 防煙ダンパー</p> <p>▶9. 地下オイルタンク</p> <p>▶10. 地上オイルタンク</p> <p>▶11. オイルサービスタック</p> <p>▶12. 遠隔式油量計</p> <p>▶13. 射気方式</p> <p>▶14. 射気範囲</p> <p>▶15. 射気指示</p> <p>▶16. 射気機器</p> <p>▶17. 射気配管</p> <p>▶18. 射気配管</p> <p>▶19. 射気配管</p> <p>▶20. 射気配管</p> <p>▶21. 射気配管</p> <p>▶22. 射気配管</p> <p>▶23. 射気配管</p> <p>▶24. 射気配管</p> <p>▶25. 射気配管</p> <p>▶26. 射気配管</p> <p>▶27. 射気配管</p> <p>▶28. 射気配管</p> <p>▶29. 射気配管</p> <p>▶30. 射気配管</p> <p>▶31. 射気配管</p> <p>▶32. 射気配管</p> <p>▶33. 射気配管</p> <p>▶34. 射気配管</p> <p>▶35. 射気配管</p> <p>▶36. 射気配管</p> <p>▶37. 射気配管</p> <p>▶38. 射気配管</p> <p>▶39. 射気配管</p> <p>▶40. 射気配管</p> <p>▶41. 射気配管</p> <p>▶42. 射気配管</p> <p>▶43. 射気配管</p> <p>▶44. 射気配管</p> <p>▶45. 射気配管</p> <p>▶46. 射気配管</p> <p>▶47. 射気配管</p> <p>▶48. 射気配管</p> <p>▶49. 射気配管</p> <p>▶50. 射気配管</p> <p>▶51. 射気配管</p> <p>▶52. 射気配管</p> <p>▶53. 射気配管</p> <p>▶54. 射気配管</p> <p>▶55. 射気配管</p> <p>▶56. 射気配管</p> <p>▶57. 射気配管</p> <p>▶58. 射気配管</p> <p>▶59. 射気配管</p> <p>▶60. 射気配管</p> <p>▶61. 射気配管</p> <p>▶62. 射気配管</p> <p>▶63. 射気配管</p> <p>▶64. 射気配管</p> <p>▶65. 射気配管</p> <p>▶66. 射気配管</p> <p>▶67. 射気配管</p> <p>▶68. 射気配管</p> <p>▶69. 射気配管</p> <p>▶70. 射気配管</p> <p>▶71. 射気配管</p> <p>▶72. 射気配管</p> <p>▶73. 射気配管</p> <p>▶74. 射気配管</p> <p>▶75. 射気配管</p> <p>▶76. 射気配管</p> <p>▶77. 射気配管</p> <p>▶78. 射気配管</p> <p>▶79. 射気配管</p> <p>▶80. 射気配管</p> <p>▶81. 射気配管</p> <p>▶82. 射気配管</p> <p>▶83. 射気配管</p> <p>▶84. 射気配管</p> <p>▶85. 射気配管</p> <p>▶86. 射気配管</p> <p>▶87. 射気配管</p> <p>▶88. 射気配管</p> <p>▶89. 射気配管</p> <p>▶90. 射気配管</p> <p>▶91. 射気配管</p> <p>▶92. 射気配管</p> <p>▶93. 射気配管</p> <p>▶94. 射気配管</p> <p>▶95. 射気配管</p> <p>▶96. 射気配管</p> <p>▶97. 射気配管</p> <p>▶98. 射気配管</p> <p>▶99. 射気配管</p> <p>▶100. 射気配管</p>	<p>○ 環境配慮</p> <p>▶1. アスベストの処理</p> <p>2) 1. アスベスト含有調査は、次による なお含有調査の結果、設計図書と異なる場合は、工事監督員と協議する</p> <p>○含有調査：ヶ所(調査部位：)</p> <p>○含有調査済：含有建材等は、図面による</p> <p>○分析手法は、JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする</p> <p>○処理の工法 *除去工事(公共建築改修工事標準仕様書及び以下による) (9.1.1)</p> <p>○施工調査 *行う ○行わない (9.1.2 9.1.3)</p> <p>○アスベスト粉じん濃度測定 *行う ○行わない (9.1.2)</p> <p>1. 除去工事共通事項</p> <p>(1) 作業主事者</p> <p>アスベスト含有建材の除去は、石綿作業主事者技能講習又は、平成18年3月以前の特 定化学物質等作業主事者技能講習を修了した者の中から、アスベスト作業主事者を選任 し、必要な管理を行わせる</p> <p>(2) 除去作業者</p> <p>アスベスト含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という)は、石綿障 害予防規則に基づく特別教育を受けた者とする</p> <p>また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし 、肺機能に異常がない者とする</p> <p>(3) 表示及び指示</p> <p>施工範囲の出入口に、「アスベスト作業主事者名と職務の内容、関係者以外立入禁止、 喫煙・飲食の禁止、アスベスト作業中等」の表示を行う</p> <p>また、アスベストの有害性、取扱いの注意事項、使用すべき保護具の指示を行う</p> <p>なお、指示の種類は、次による</p> <p>① 吹き付け等届出対象の場合の指示</p> <p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>当現場では、()労働基準監督署へ</p> <p>○労働安全衛生法第88条第4項(労働安全衛生規則第90条第5項の2)の規定による計画の届出</p> <p>○石綿障害予防規則第5条第1項の規定による作業の届出</p> <p>を行っています</p> <table border="1"> <tr><th>届出年月日</th><th>令和 年 月 日</th><th>作業期間</th><th>令和 年 月 日～</th></tr> <tr><td>届出内容</td><td></td><td>令和 年 月 日～</td><td>令和 年 月 日</td></tr> <tr><td>(石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容)</td><td></td><td>令和 年 月 日(表示日)</td><td></td></tr> <tr><td>石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:</td><td></td><td>令和 年 月 日(表示日)</td><td></td></tr> <tr><td>(氏名)を石綿作業主事者に選任しています</td><td></td><td>施工事業者名:</td><td></td></tr> <tr><td>石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています</td><td></td><td>現場責任者氏名:</td><td></td></tr> <tr><td>受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)</td><td></td><td>連絡先:</td><td></td></tr> <tr><td>また、北海道通知()へ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○大気汚染防止法第18条第15項の規定による作業の届出を行っています</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>届出年月日</td><td>令和 年 月 日</td><td>届出先</td><td></td></tr> <tr><td>届出者住所</td><td></td><td>届出者氏名</td><td></td></tr> </table> <p>② 成形板等の届出の必要が無い場合の指示</p> <p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>石綿障害予防規則に基づき、当現場では適切な石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの 飛散防止対策を行っています</p> <table border="1"> <tr><th>届出年月日</th><th>令和 年 月 日</th><th>作業期間</th><th>令和 年 月 日～</th></tr> <tr><td>届出内容</td><td></td><td>令和 年 月 日～</td><td>令和 年 月 日</td></tr> <tr><td>石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容</td><td></td><td>令和 年 月 日(表示日)</td><td></td></tr> <tr><td>石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:</td><td></td><td>令和 年 月 日(表示日)</td><td></td></tr> <tr><td>○を石綿作業主事者に選任しています</td><td></td><td>施工事業者名:</td><td></td></tr> <tr><td>石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています</td><td></td><td>現場責任者氏名:</td><td></td></tr> <tr><td>受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)</td><td></td><td>連絡先:</td><td></td></tr> </table> <p>③ アスベスト含有建材を使っていない場合</p> <p>建築物等の解体等の作業に関するお知らせ</p> <p>石綿障害予防規則に基づく石綿の使用の有無の調査を行った結果、当現場では石綿を使用 していません</p> <table border="1"> <tr><th>調査方法</th><th>作業期間</th><th>令和 年 月 日～</th></tr> <tr><td>(調査年月日)</td><td>令和 年 月 日</td><td>令和 年 月 日</td></tr> <tr><td>施工事業者名:</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現場責任者氏名:</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>連絡先:</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>(4) 保護具・保護衣</p> <p>除去作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護メガネを使用するとともに、アス ベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣又は、保護衣を着 用する</p> <p>(5) 除去したアスベスト等の保管及び運搬</p> <p>除去したアスベスト含有建材を届出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管 場所を定め、他の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を 講ずる</p> <p>また、保管場所には、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う</p> <p>(6) 確認及び後片付け</p> <p>除去作業が終了後、高性能真空掃除機で、床等を清掃する</p> <p>また、工事監督員の立命の上で、除去が十分行われていることを目視確認を受ける</p> <p>2. アスベスト含有保護材等の除去等</p> <p>(1) 処理を行う保護材、耐火被覆板及び断熱材の種類及び除去</p> <p>種類:</p> <p>除去: ○掻き落とし ○塗剥 ○切断 ○作業場の隔離</p> <p>種類:</p> <p>除去: ○掻き落とし ○塗剥 ○切断 ○作業場の隔離</p> <p>3. アスベスト含有成形板等の除去等</p> <p>(1) 処理を行う成形板の種類</p> <p>種類:</p>	届出年月日	令和 年 月 日	作業期間	令和 年 月 日～	届出内容		令和 年 月 日～	令和 年 月 日	(石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容)		令和 年 月 日(表示日)		石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:		令和 年 月 日(表示日)		(氏名)を石綿作業主事者に選任しています		施工事業者名:		石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています		現場責任者氏名:		受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)		連絡先:		また、北海道通知()へ				○大気汚染防止法第18条第15項の規定による作業の届出を行っています				届出年月日	令和 年 月 日	届出先		届出者住所		届出者氏名		届出年月日	令和 年 月 日	作業期間	令和 年 月 日～	届出内容		令和 年 月 日～	令和 年 月 日	石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容		令和 年 月 日(表示日)		石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:		令和 年 月 日(表示日)		○を石綿作業主事者に選任しています		施工事業者名:		石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています		現場責任者氏名:		受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)		連絡先:		調査方法	作業期間	令和 年 月 日～	(調査年月日)	令和 年 月 日	令和 年 月 日	施工事業者名:			現場責任者氏名:			連絡先:		
名称	新設	改修	撤去	備考																																																																																																																																																																							
冷暖房設備工事	○	●	○																																																																																																																																																																								
換気	○	●	○																																																																																																																																																																								
床暖房	○	●	○																																																																																																																																																																								
給油	○	●	○	地下貯油槽、オイルサービスタンは既存使用																																																																																																																																																																							
自動制御	○	●	○																																																																																																																																																																								
給水	○	●	○	機械室受水槽廻り給水配管更新工事																																																																																																																																																																							
排水	○	●	○																																																																																																																																																																								
給湯	○	●	○																																																																																																																																																																								
衛生器具	○	●	○																																																																																																																																																																								
消火	○	●	○																																																																																																																																																																								
ガス	○	●	○																																																																																																																																																																								
太陽熱	○	●	○																																																																																																																																																																								
循環ろ過	○	●	○																																																																																																																																																																								
外径	6.35	9.52	12.70	～50.80																																																																																																																																																																							
被覆厚	製造者仕様																																																																																																																																																																										
届出年月日	令和 年 月 日	作業期間	令和 年 月 日～																																																																																																																																																																								
届出内容		令和 年 月 日～	令和 年 月 日																																																																																																																																																																								
(石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容)		令和 年 月 日(表示日)																																																																																																																																																																									
石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:		令和 年 月 日(表示日)																																																																																																																																																																									
(氏名)を石綿作業主事者に選任しています		施工事業者名:																																																																																																																																																																									
石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています		現場責任者氏名:																																																																																																																																																																									
受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)		連絡先:																																																																																																																																																																									
また、北海道通知()へ																																																																																																																																																																											
○大気汚染防止法第18条第15項の規定による作業の届出を行っています																																																																																																																																																																											
届出年月日	令和 年 月 日	届出先																																																																																																																																																																									
届出者住所		届出者氏名																																																																																																																																																																									
届出年月日	令和 年 月 日	作業期間	令和 年 月 日～																																																																																																																																																																								
届出内容		令和 年 月 日～	令和 年 月 日																																																																																																																																																																								
石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の内容		令和 年 月 日(表示日)																																																																																																																																																																									
石綿のばく露防止措置及び石綿粉じんの飛散防止措置の概要:		令和 年 月 日(表示日)																																																																																																																																																																									
○を石綿作業主事者に選任しています		施工事業者名:																																																																																																																																																																									
石綿に係る特別教育を受講した者が作業を行っています		現場責任者氏名:																																																																																																																																																																									
受講した特別教育:○の実施した講習(平成 年 月受講)		連絡先:																																																																																																																																																																									
調査方法	作業期間	令和 年 月 日～																																																																																																																																																																									
(調査年月日)	令和 年 月 日	令和 年 月 日																																																																																																																																																																									
施工事業者名:																																																																																																																																																																											
現場責任者氏名:																																																																																																																																																																											
連絡先:																																																																																																																																																																											

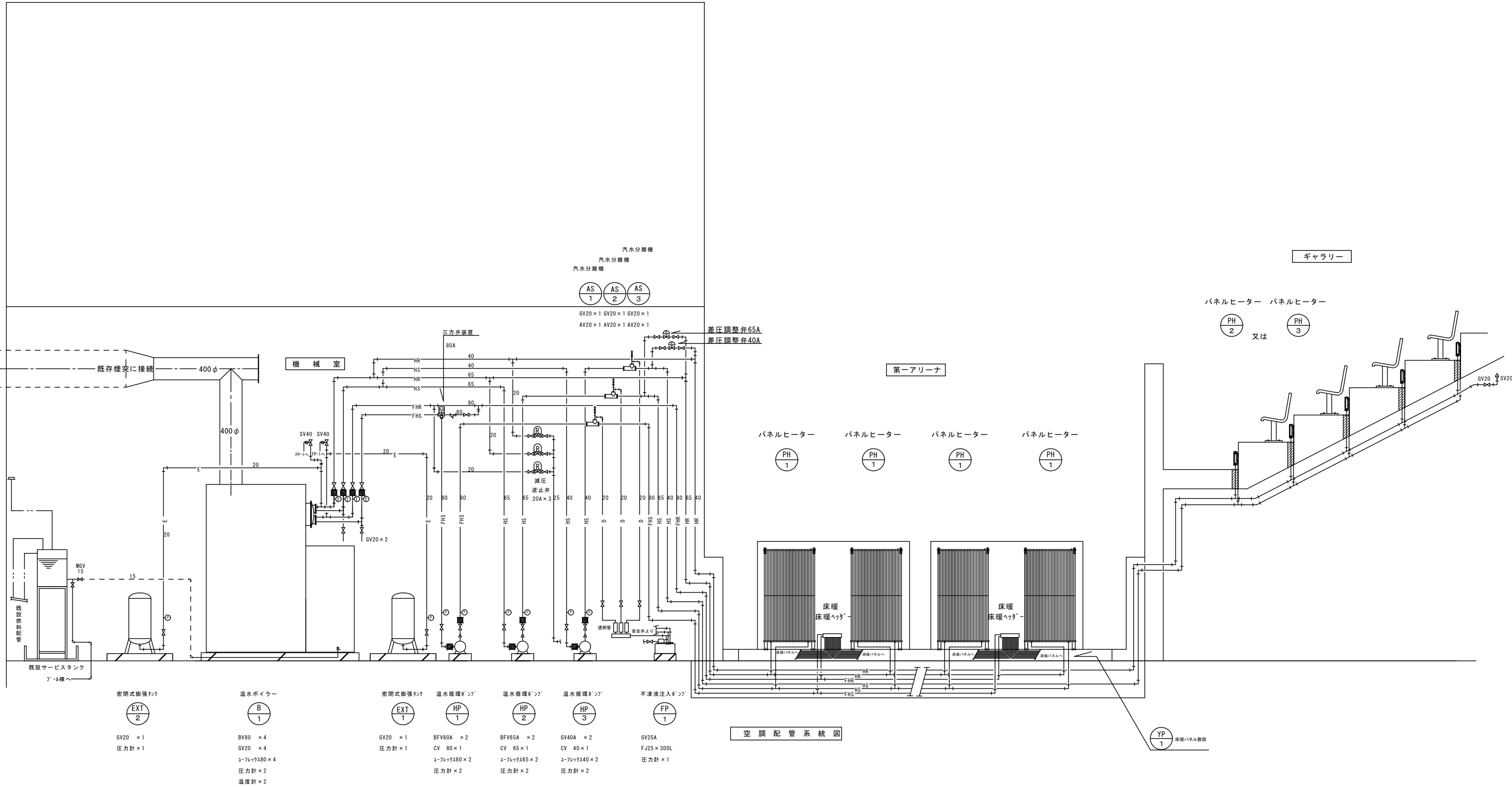
空調機器表

記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kW)			
B-1	アリーナ暖房用ボイラー	型式：真空式2回路型、缶体出力：465KW/H 暖房能力：179,000kcal/H(温水温度40℃→30℃) 暖房能力：229,000kcal/H(温水温度65℃→75℃) バーナー：A重油焚(51.8L/H)	1	3	200	2.08	1階機械室	標準基礎(A) H=150	タクマKSAN-400 相当品 一括故障表示端子付
HP-1	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：80φ×400L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	3.7	1階機械室	標準基礎(A) H=150	床暖パネル系統
HP-2	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：65φ×300L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	3.7	1階機械室	標準基礎(A) H=150	第一アリーナパネルヒーター系統
HP-3	温水循環ポンプ	渦巻きポンプ：32φ×100L/min×20m 防振架台、不凍液対応型	1	3	200	2.2	1階機械室	標準基礎(A) H=150	ギャラリーパネルヒーター系統
FP-1	不凍液注入ポンプ	受水槽付小型定圧給水ポンプ、単独運転型 25φ×25L/min×20m 受水槽FRP製500L	1	3	200	0.4	1階機械室	標準基礎(A) H=150	不凍液系統
EXT-1	膨張タンク	型式：密閉式、最高使用圧力：0.6kg/m ² 最大吸収量：109L、タンク容量：215L	1				1階機械室	標準基礎(A) H=150	床暖パネル系統
EXT-2	膨張タンク	型式：密閉式、最高使用圧力：0.6kg/m ² 最大吸収量：66L、タンク容量：130L	1				1階機械室	標準基礎(A) H=150	パネルヒーター系統
SM-1	ばい煙濃度計	投光器、受光器(ファン付)	1				1階機械室		既存再使用
AS-1	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径80A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		床暖パネル系統
AS-2	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径65A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		第一アリーナパネルヒーター系統
AS-3	汽水分離機	防蝕サイレンサー 口径40A、自動17-抜き弁共 空調用	1				1階機械室		ギャラリーパネルヒーター系統
YP-1	床暖パネル	ゴムチップパネル 放熱能力2,080W/m ² 【建築工事】 放熱器循環水量4.0L/min 12.17L/枚	100				第一アリーナ		床暖パネル系統
PH-1	パネルヒーター	暖房能力10,313W 1,400×2,500×164D 自立型金物、壁固定金物、サーモバルブ共 防球ネット(建築工事)	20				第一アリーナ		第一アリーナパネルヒーター系統
PH-2	パネルヒーター	暖房能力1,437W 3,500×218H×57D 自立型、サーモバルブ、保護カバー共	10				ギャラリー		ギャラリーパネルヒーター系統
PH-3	パネルヒーター	暖房能力1,848W 4,500×218H×57D 自立型、サーモバルブ、保護カバー共	25				ギャラリー		ギャラリーパネルヒーター系統

空調機器表

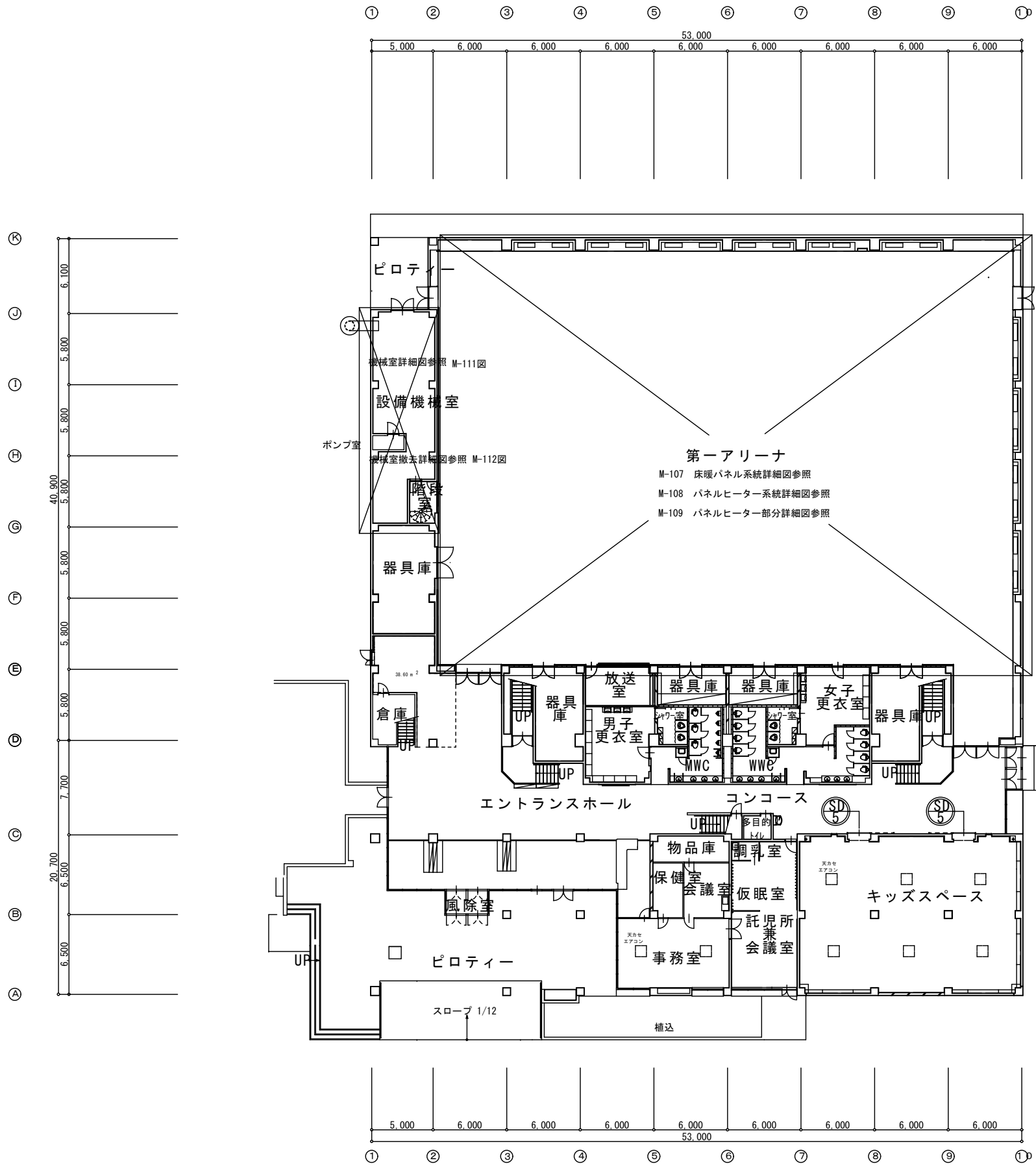
記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kW)			
EHP-2	空冷ヒートポンプ	マルチ型室外機、寒冷地用冷暖切換え型 定格冷房能力14.0KW 暖房能力16.0KW 防振架台、防雪フード、室外機鉄骨架台共	1	3	200	7.9	屋外1階	建築工事	PUSY-HP140MH3 相当品
EHP-2-1	空冷ヒートポンプ	室内機、天井カセット4方向型 冷房能力7.1KW、暖房能力8.5KW 昇降パネル、多機能リモコン共	2	1	200	0.04	2階研修室		PLFY-P71EMG8 相当品

代表となる設計者：太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者：菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者：(株)創造設計舎 管理建築士：一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2024.04.			工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当		



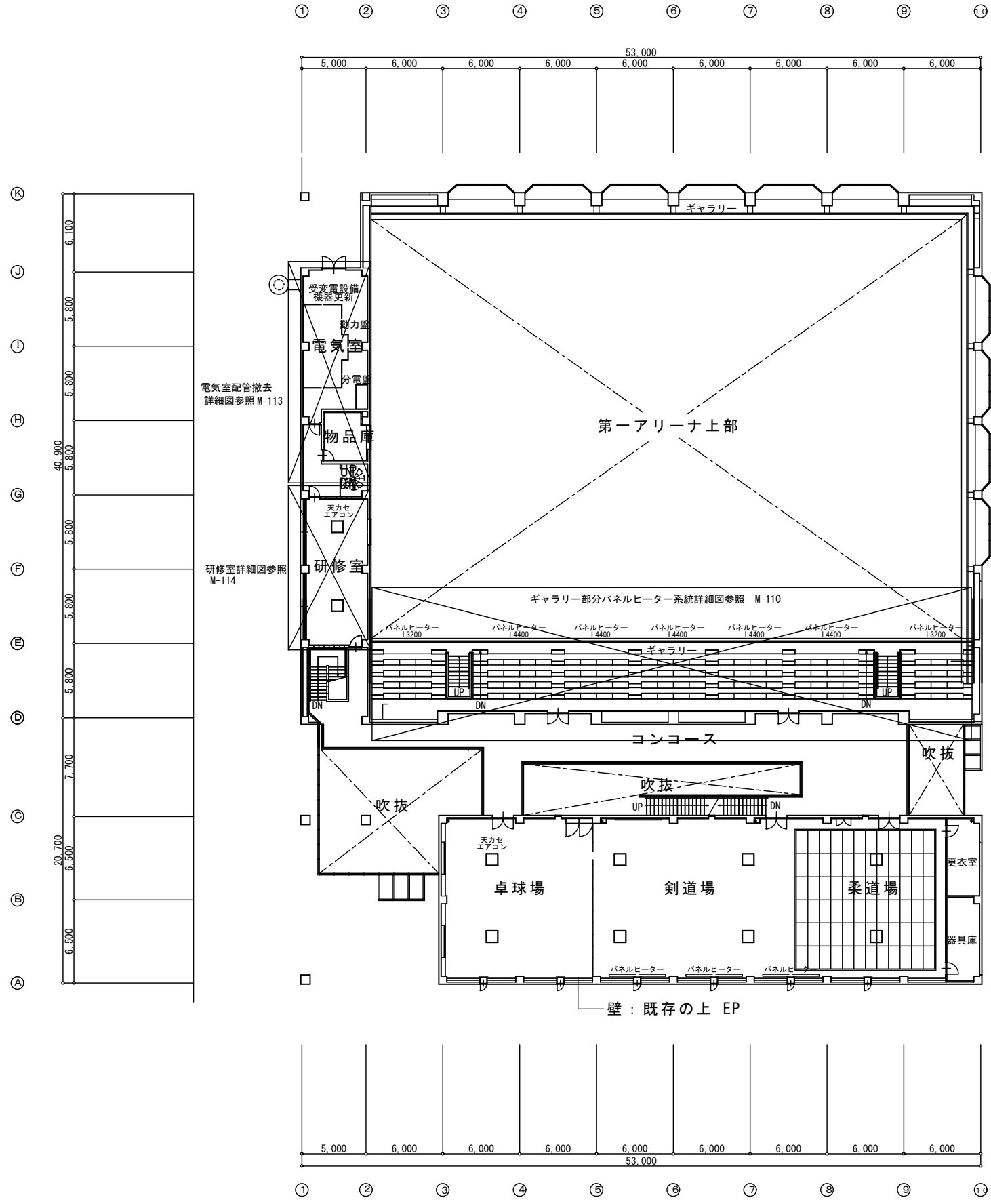
空調配管系統図

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	空調配管系統図	図 面 番 号

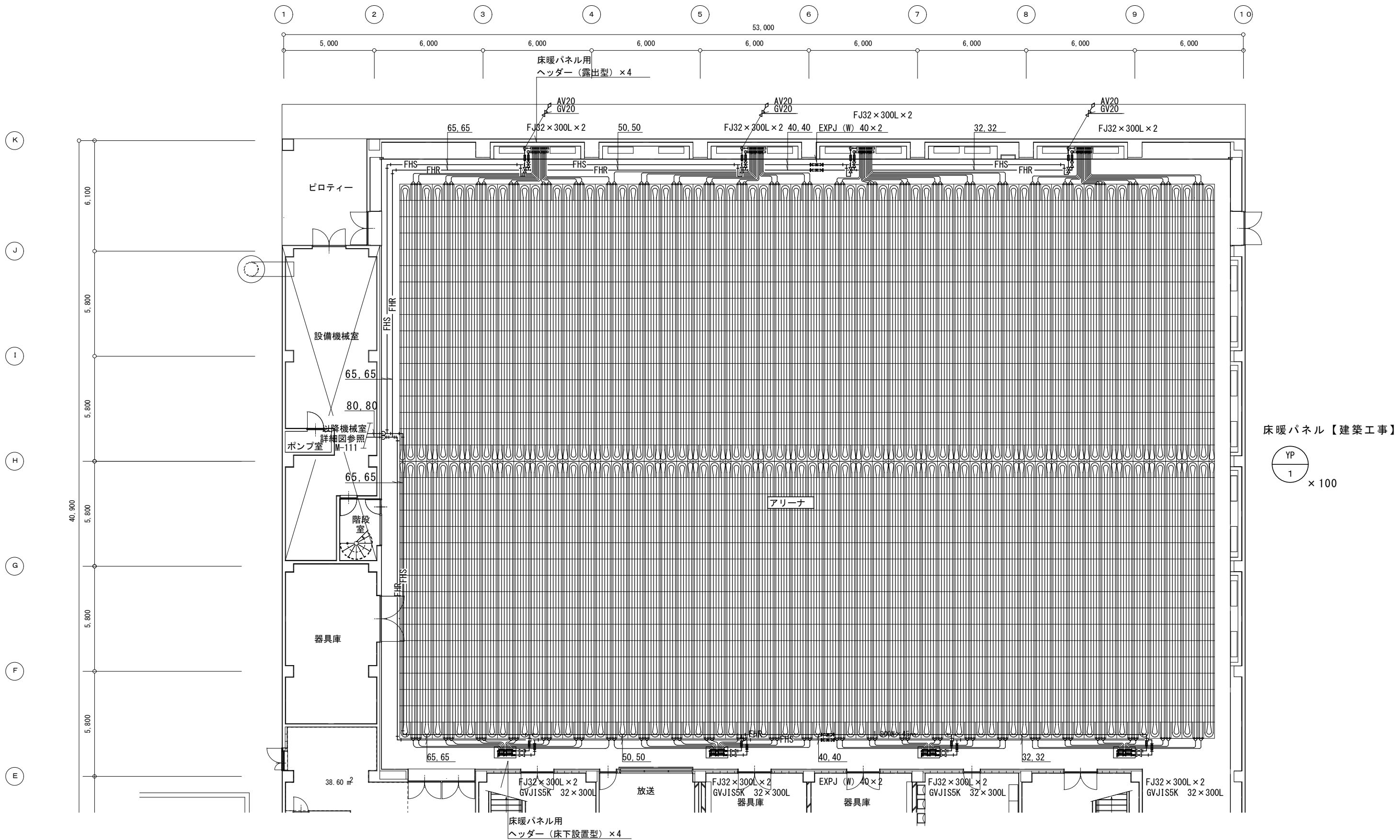


改修後平面図 1 : 400

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		査 閲 校 正 担 当		図面名称	空調設備 1階平面図	図面番号	M-105

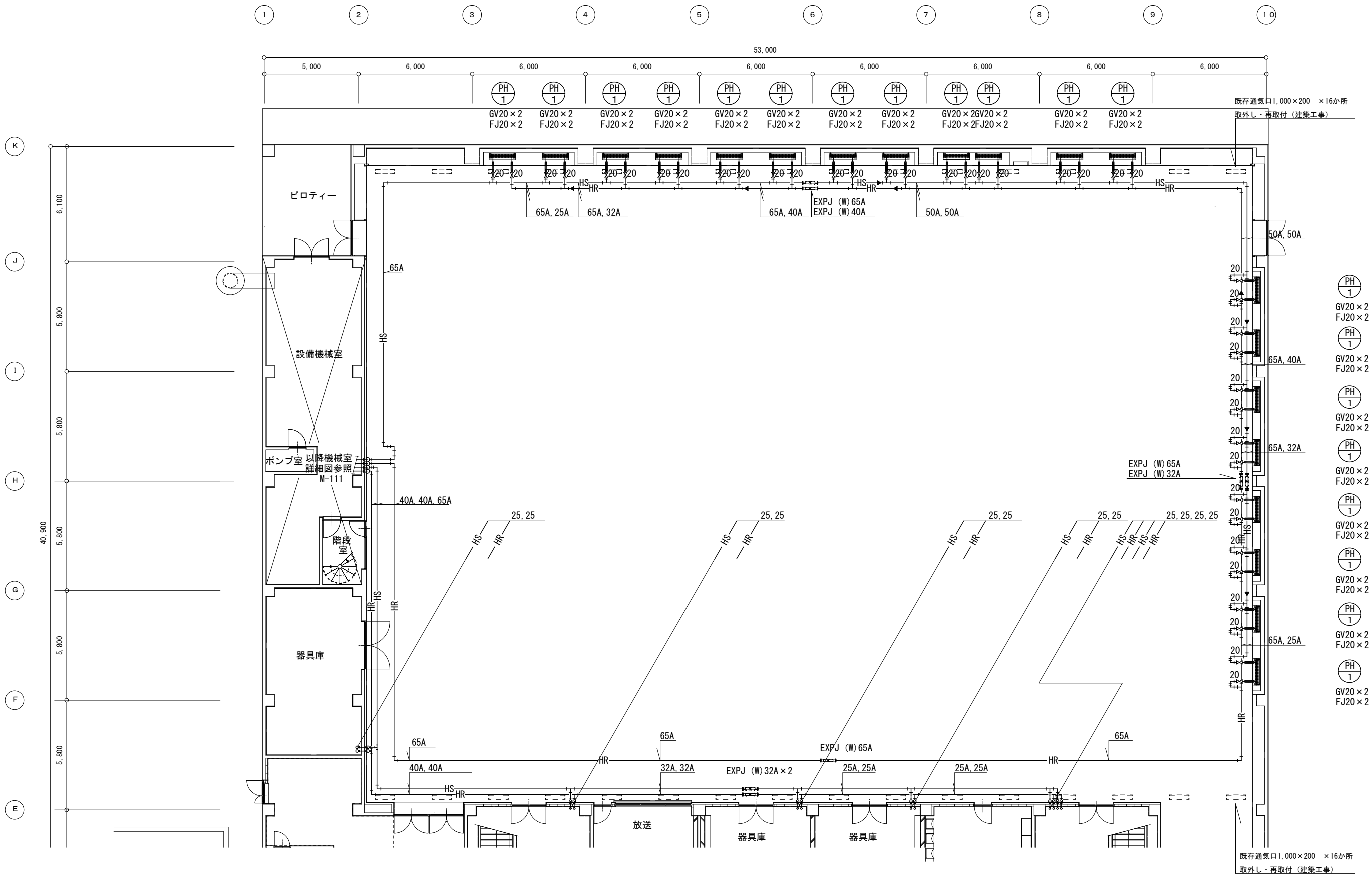


代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2024.04.			工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/200 A3:1/400
		査 閲	校 正	担 当		



1階第一アリーナ平面図

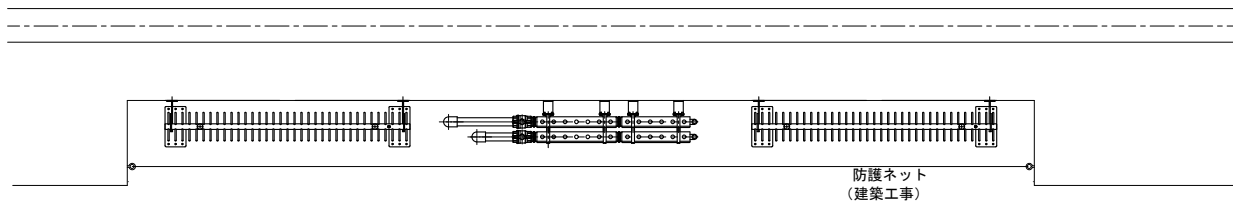
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	床暖パネル系統詳細図	図 面 番 号



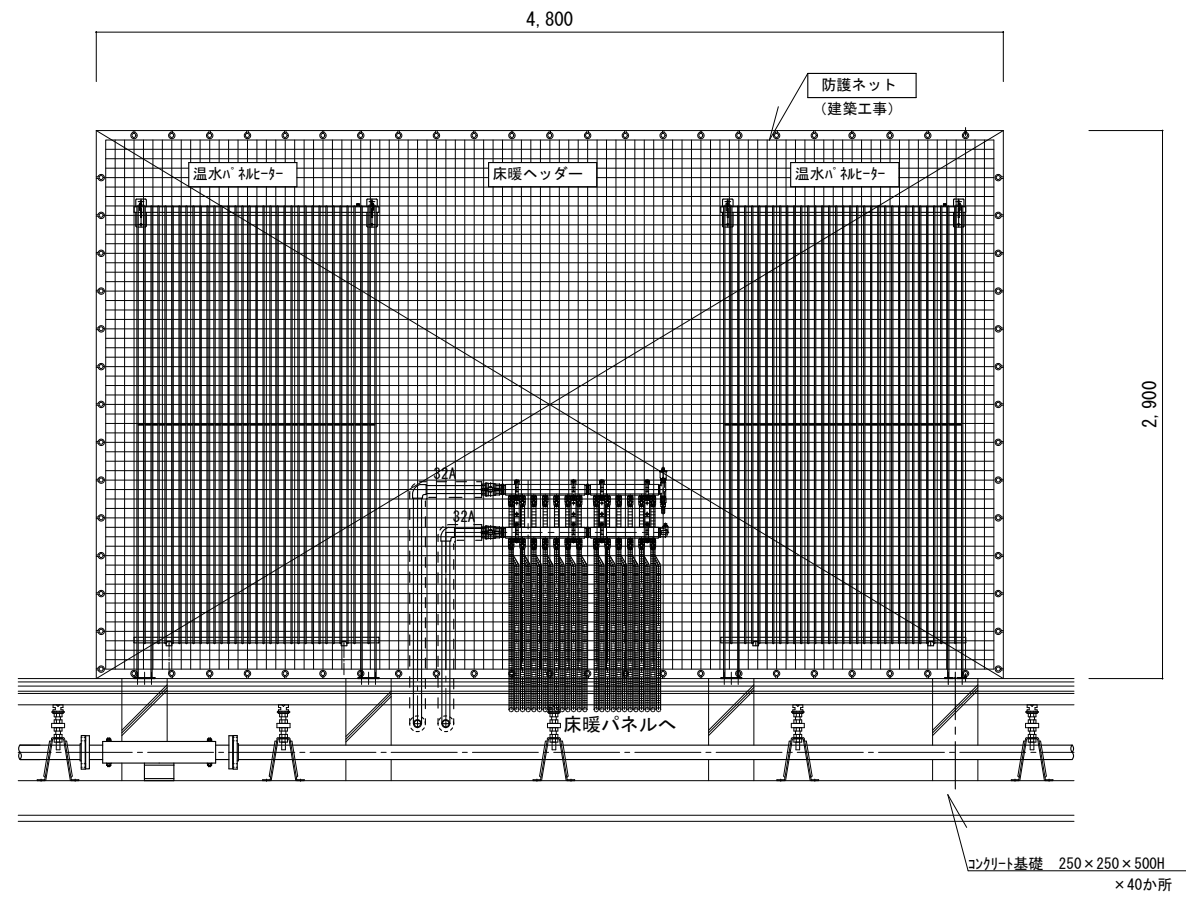
1階第一アリーナ平面図

- 凡例
- □ □ 既存通気口1,000×200 を示す。
取外し・再取付 (建築工事) ×32力所
 - - - 既存暖房配管を示す。

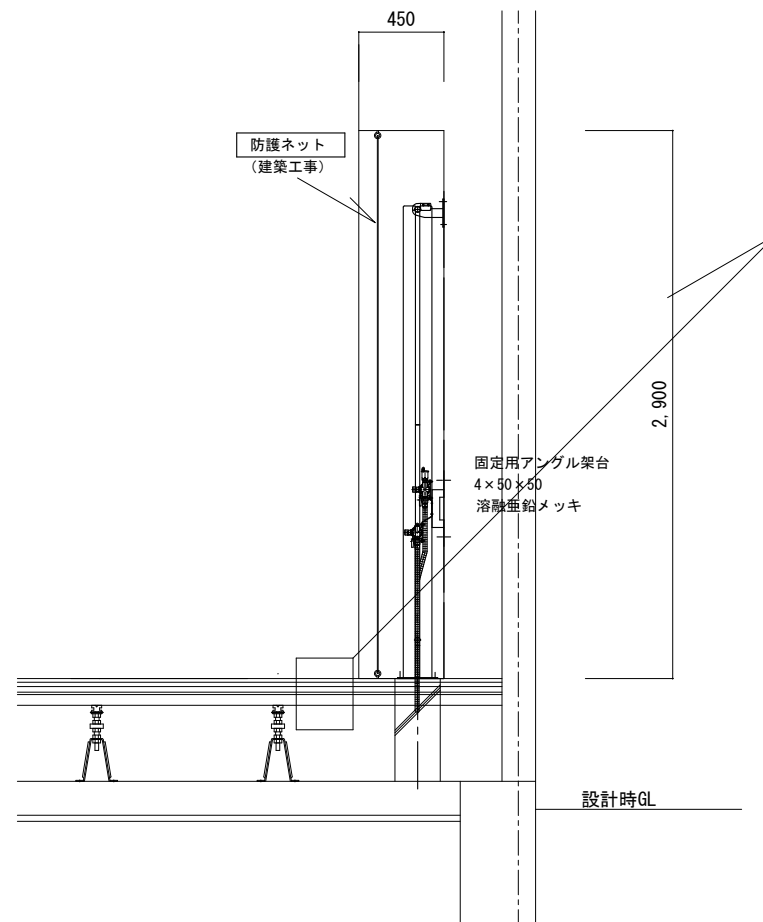
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエンク 設計共同企業体	設計年月日		工事名称	縮尺
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		2024.04.			
	代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正	担 当	図面名称
					図面番号 M-108



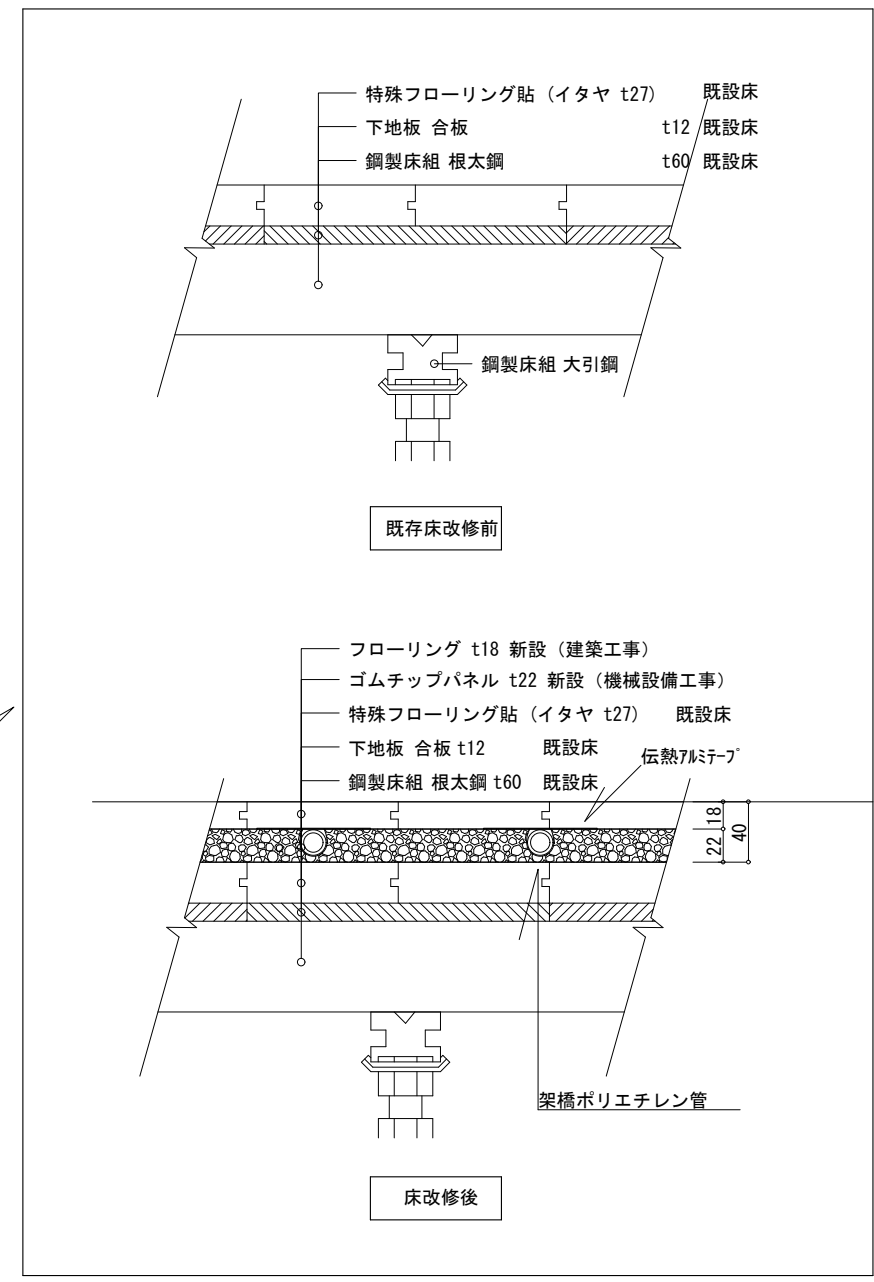
アリーナ 改修後 平面詳細図



アリーナ 改修後 断面図

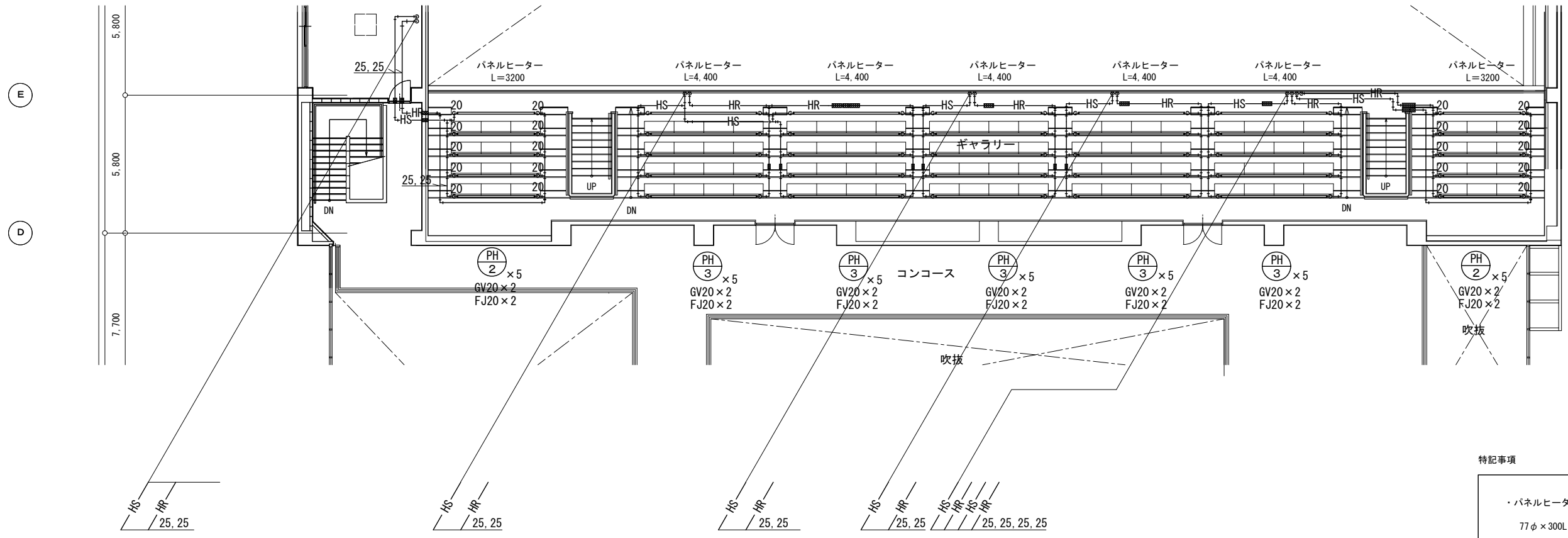
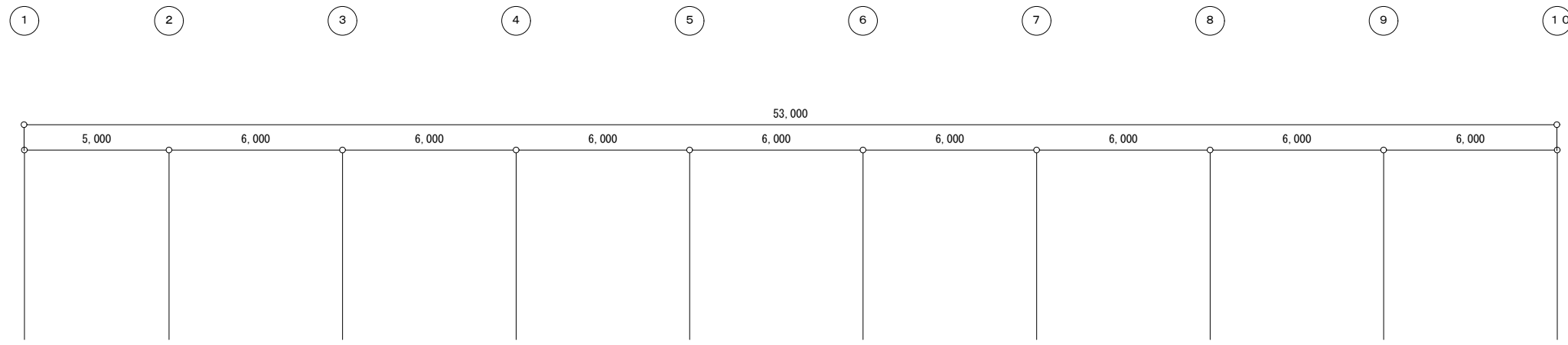


アリーナ 改修後 側面図



床仕上詳細図 1/5

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	パネルヒーター部分詳細図	図 面 番 号

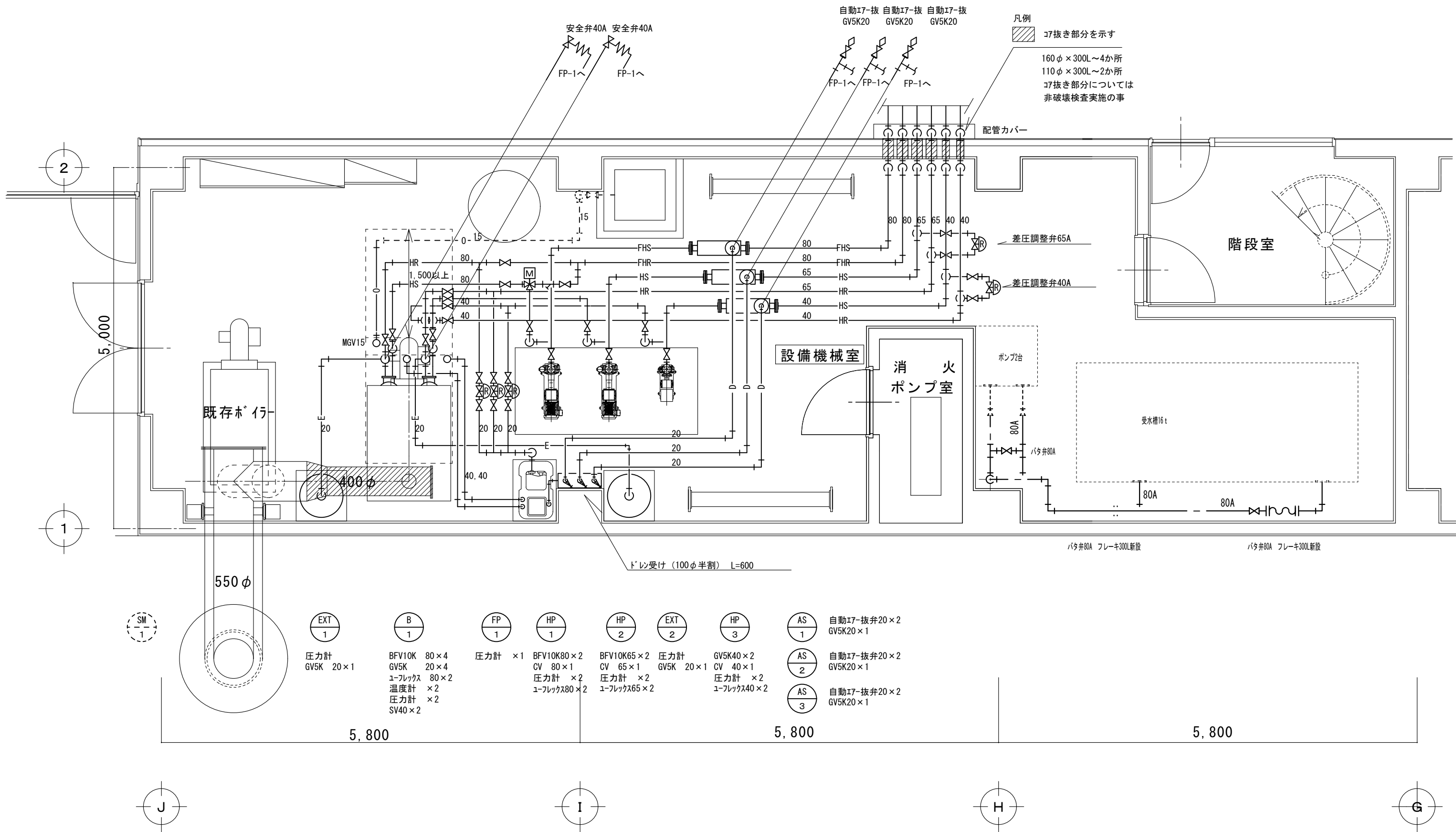


2階ギャラリー平面図

特記事項

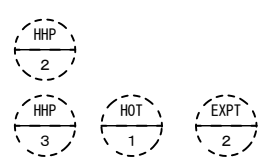
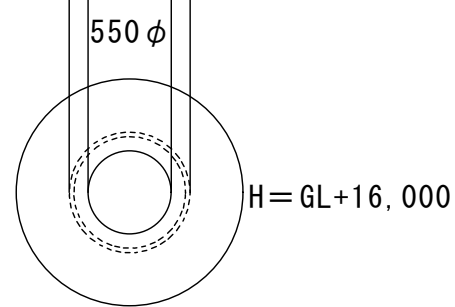
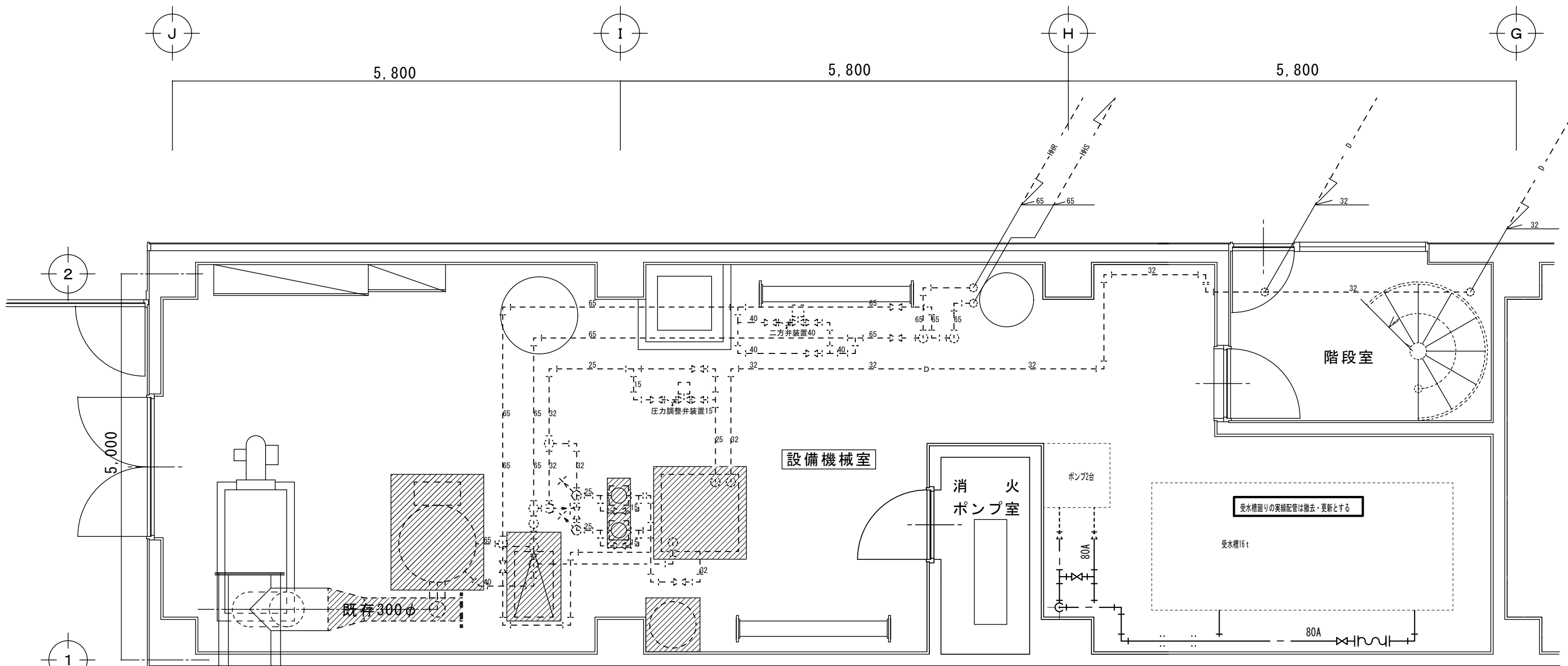
- ・パネルヒーター用暖房配管コア抜き数量 77φ×400L×7か所
77φ×300L×2か所 , 77φ×250L×1か所 , 77φ×200L×8か所
- ・パネルヒーター用暖房配管立上げ部分は、コア抜きとする。
- 上記数量 77φ×300L×70か所
- 配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い
監督員の許可を得る事。

代表となる設計者: 木田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者 : 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 木田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	ギャラリー部分パネルヒーター系統詳細図	図 面 番 号



本図面は令和6年度以降

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/25 A3:1/50
		査 閲	校 正	担 当	図面名称	機械室詳細図	図 面 番 号



特記事項

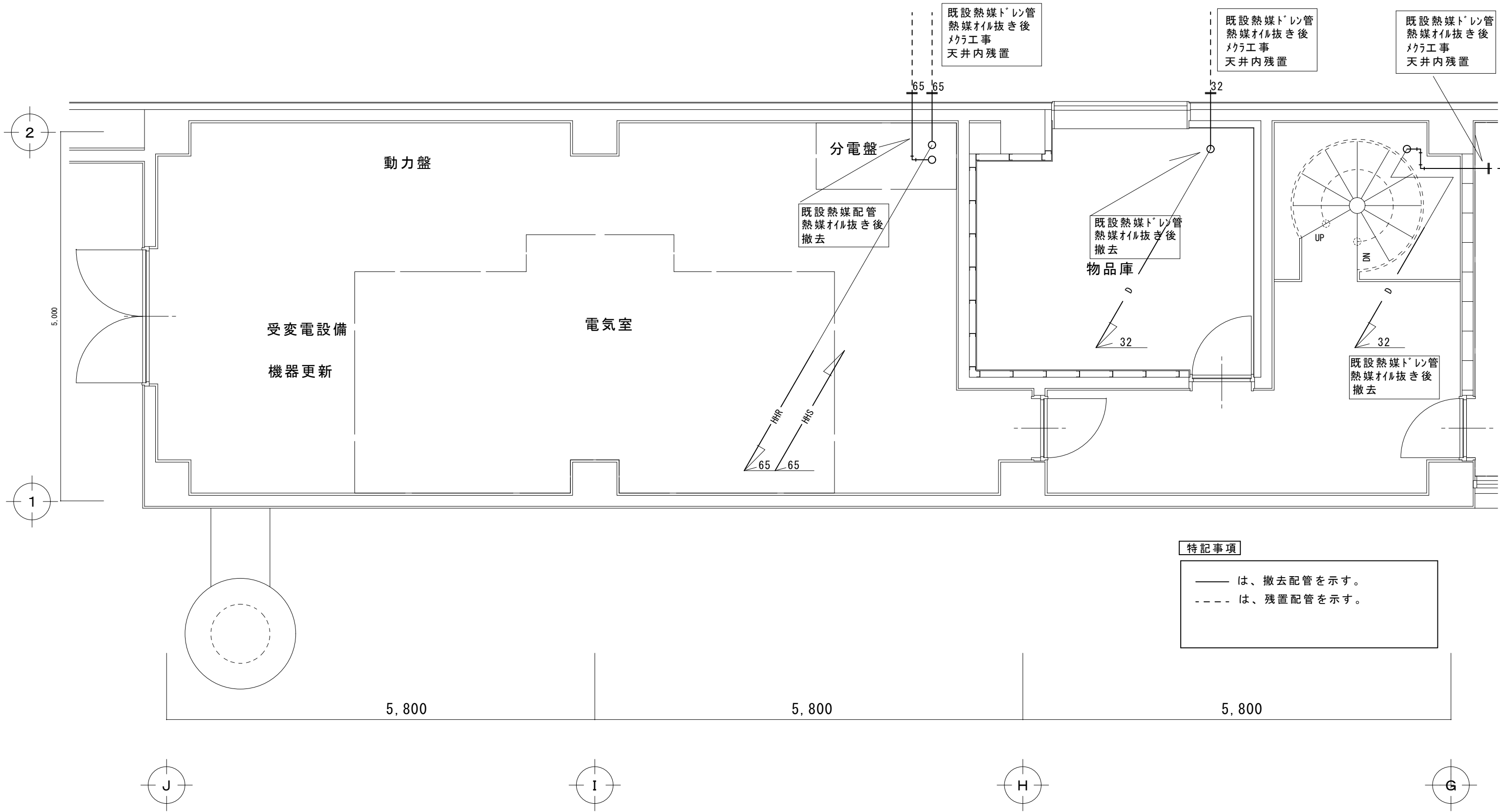
- は、撤去部分を示す。(基礎撤去は建築工事)
- は、撤去器具番号を示す。
- は、撤去配管を示す。
- B-2の熱媒体ボイラーに関するオイル関係は、産業廃棄物処理とする。

撤去機器一覧表

記号	名称	仕様	数量	動力			設置場所	基礎	備考
				相(φ)	電圧(V)	動力(kw)			
B-2	アリーナ暖房用ボイラー	熱媒体ヒーター	1	3	200		1階機械室	標準基礎(A)	タクマNH-40A
		A重油焚き							熱出力: 400,000kcal/H (熱媒体温度115°C→145°C)
HHP-1	熱媒体循環ポンプ	渦巻きポンプ: 65φ×500L/min×45m	1	3	200	7.5	1階機械室	H=300	耐熱150°C
HHP-2	熱媒体加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ: 25φ×16L/min×60m	1	3	200	0.75	1階機械室	H=300	耐熱130°C
HHP-3	熱媒体加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ: 25φ×16L/min×28m	1	3	200	0.37	1階機械室	H=150	耐熱150°C
EXPT-2	膨張タンク	熱媒体用膨張タンク	1				1階機械室	H=150	
		1,000φ×1,500H 解放式							
HOT-1	加圧タンク	密閉式タンク, 瞬間使用圧力10KG/m ² 恒温槽付, 第二種圧力容器	1				1階機械室	H=150	

本図面は令和6年度以降

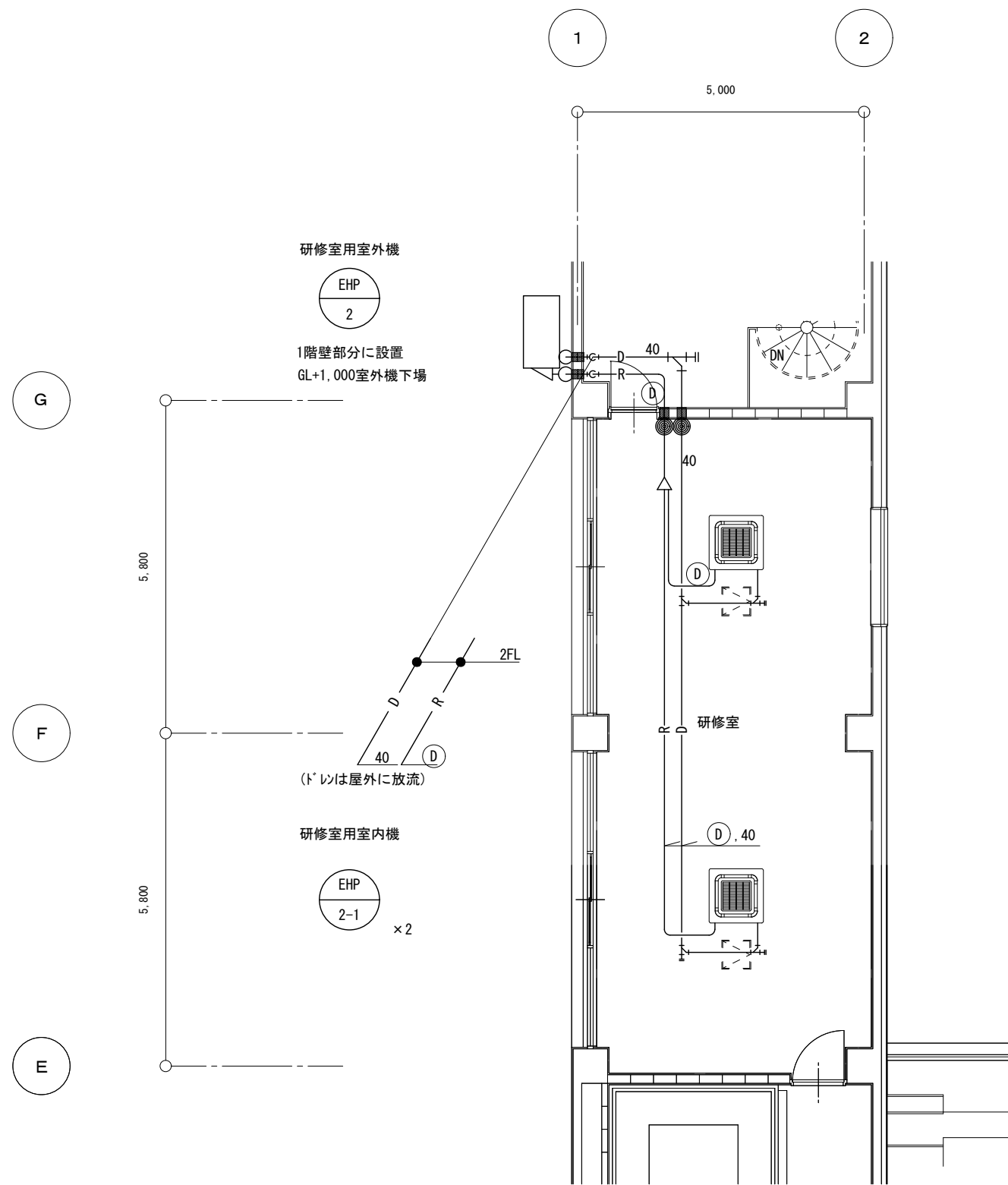
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日	2024.04.	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	A1:1/25 A3:1/50
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	2024.04.	図面名称	機械室撤去詳細図	図面番号	M-112



特記事項

—— は、撤去配管を示す。
 - - - は、残置配管を示す。

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2024.04.	工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/25 A3:1/50
		査 閲 校 正 担 当	図面名称 2階電気室配管撤去詳細図	図 面 番 号 M-113



研修室用室外機



1階壁部分に設置
GL+1,000室外機下場

5,800



5,800



研修室用室内機



× 2

(D・Rは屋外に放流)

2FL

5,000



冷媒サイズ一覧表

記号	冷媒サイズ
Ⓐ	6.4φ × 9.5φ
Ⓑ	6.4φ × 12.7φ
Ⓒ	9.5φ × 12.7φ
Ⓓ	9.5φ × 15.9φ
Ⓔ	9.5φ × 19.1φ
Ⓕ	9.5φ × 22.2φ
Ⓖ	9.5φ × 25.4φ
Ⓕ	12.7φ × 19.1φ
Ⓖ	12.7φ × 22.2φ
Ⓖ	12.7φ × 25.4φ
Ⓖ	12.7φ × 28.6φ
Ⓖ	15.9φ × 28.6φ
Ⓖ	15.9φ × 31.8φ
Ⓖ	19.1φ × 31.8φ
Ⓖ	19.1φ × 38.1φ
Ⓖ	22.2φ × 38.1φ

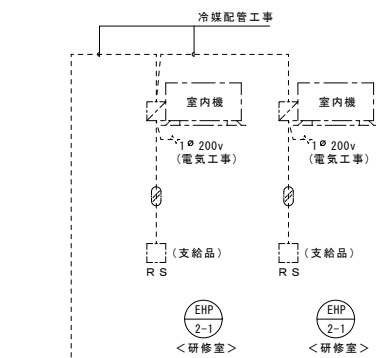
特記事項

- ・室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
- ・屋外露出配管部分はR Dカバー(高耐食製)を施す。
- 防火区画貫通部は、日本消防設備安全センター評定品
国土交通大臣認定工法による区画処理を行う。
- ・集中リモコンは、1階事務所設置とする。
- ・個別リモコンは、室内設置とする。
- ・天井点検口450口(建築工事)を示す
- ・区画処理材 国土交通大臣認定 PS060FL-9369(床)
- ・国土交通大臣認定 PS060WL-0534(壁) PS060WL-0467(壁・中空壁)
- 既存機器番号を示す
- 配管用コア穴明け部分については、非破壊検査を行い監督員の許可を得る事。

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体	設計年月日 2024.04.			工事名称 茅室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/50 A3:1/100
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正		

エアコン・空調換気扇廻り工事 1set

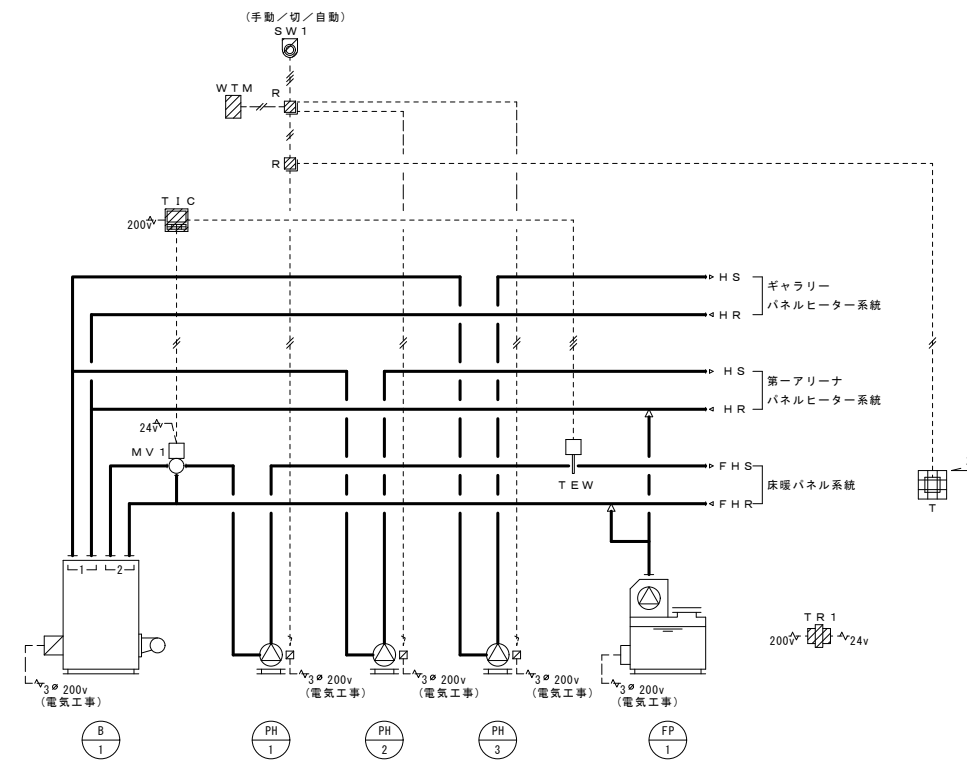
<制御項目>
 ・既設システムコントローラー(S C)迄の配線工事。
 ・リモコンスイッチ(R S)の配線工事。
 ・室内機と室外機の渡り配線工事。(冷媒配管工事)
 ※R S本体は装置付属品



以降システムコントローラー(SC-1)系統へ配線

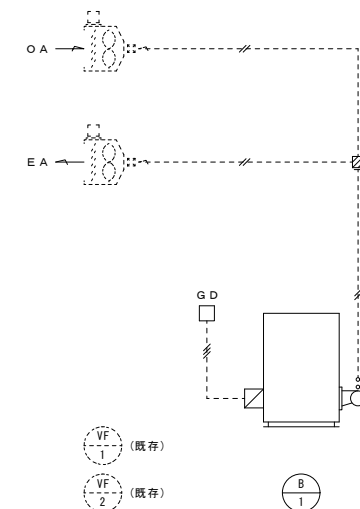
熱源制御 1set

<制御項目>
 ・通関タイマー(W T M)で温水ポンプ発停制御。(S W 1で手動操作可)
 ・室内温度(T)で床暖パネル系統ポンプのハイカット制御。
 ・送水温度(T E W)で三方弁(M V 1)比例制御。



設備機械室換気制御 1set

<制御項目>
 ・温水ボイラーのバーナー運転信号で、換気ファン運転による燃焼空気取り入れ制御。
 ・感震装置(G D)が地震感知時、温水ボイラー強制停止。



注記
 [斜線記号] : 制御室内機器を示す。
 [矢印記号] : 電源供給を示す。
 [点線記号] : 配線部分を示す。

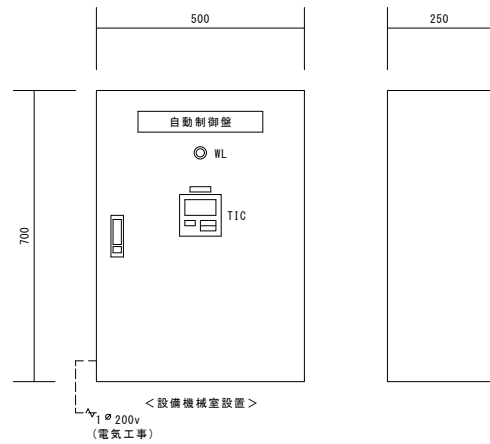
代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエンク 設計共同企業体	設計年月日	2024.04.		工事名称	茅室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		査 閲	校 正	担 当	図面名称	自動制御系統図	図 面 番 号	M-115
	代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊							

自動制御機器表

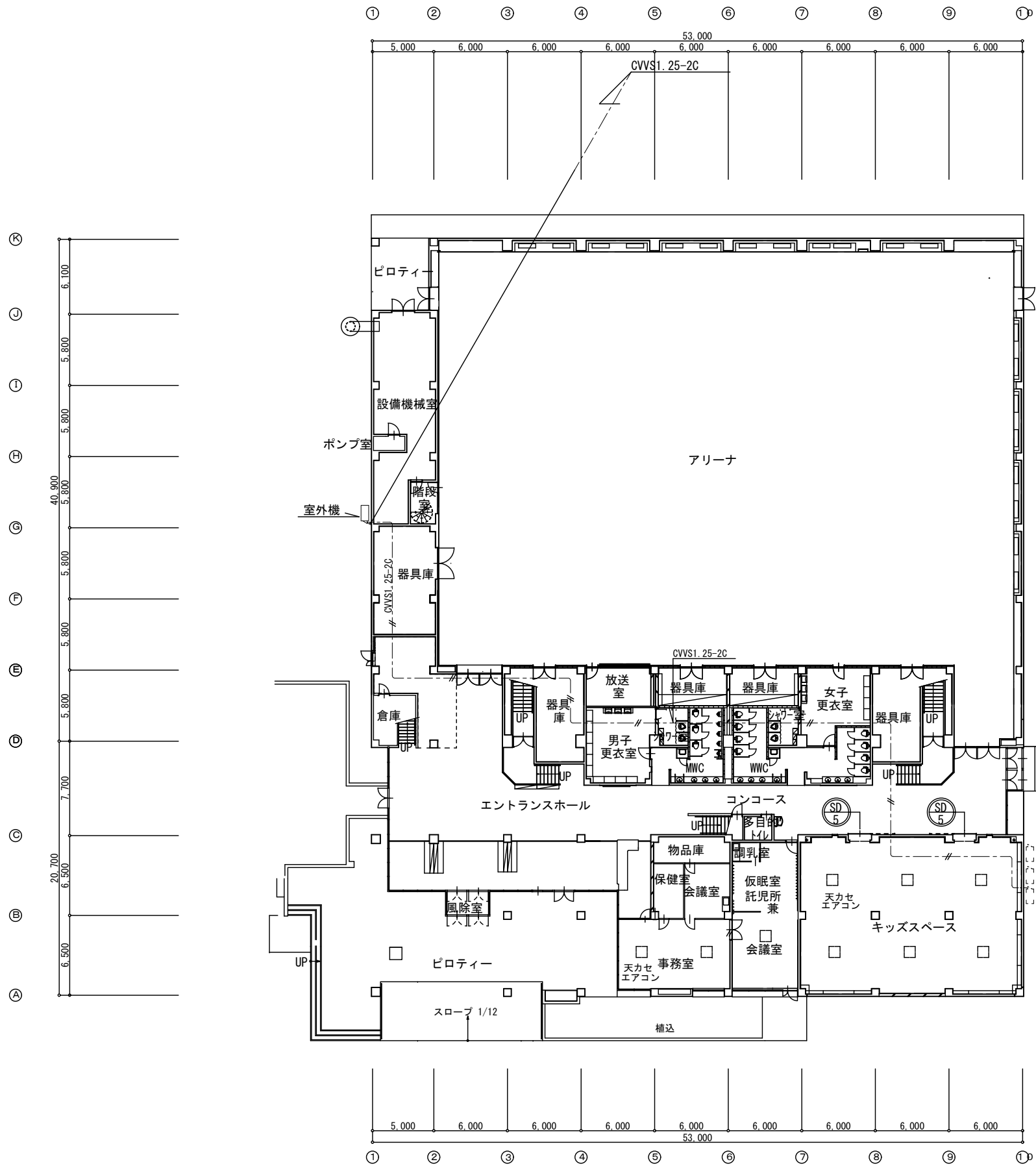
記号	名称	型番	備考
TIC	デジタル指示調節器	RPD500-1-GN	設定・指示共デジタル表示
TEW	送水温度検出器	QAE2111.015/ALT-SS150/GRA-1	
T	室内温度調節器	RAA21/ARG70	
Z	防球ガード		1個用
GD	感震装置		
MV1	電動三方弁	SKC62/VXF43...J	比例動作
MD1	ダンパーモーター	SFA	直結型 AC100v 2位置動作 20'リフトリフト式
TR1	電源トランス		
WTM	通関タイマー		
SW1	切替スイッチ		手動/切/自動
R	補助リレー		

バルブ選定表

記号	系統名	型番	流体	流量	差圧	Kv	口径	備考
				l/min	kPa	m ³ /h		
MV1	熱源制御	SKC62/VXF43.80-100J	温水	400	30	43.9	80A	床暖パネル



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2024 . 04 .			工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 NO SCALE
		査 閲	校 正	担 当		



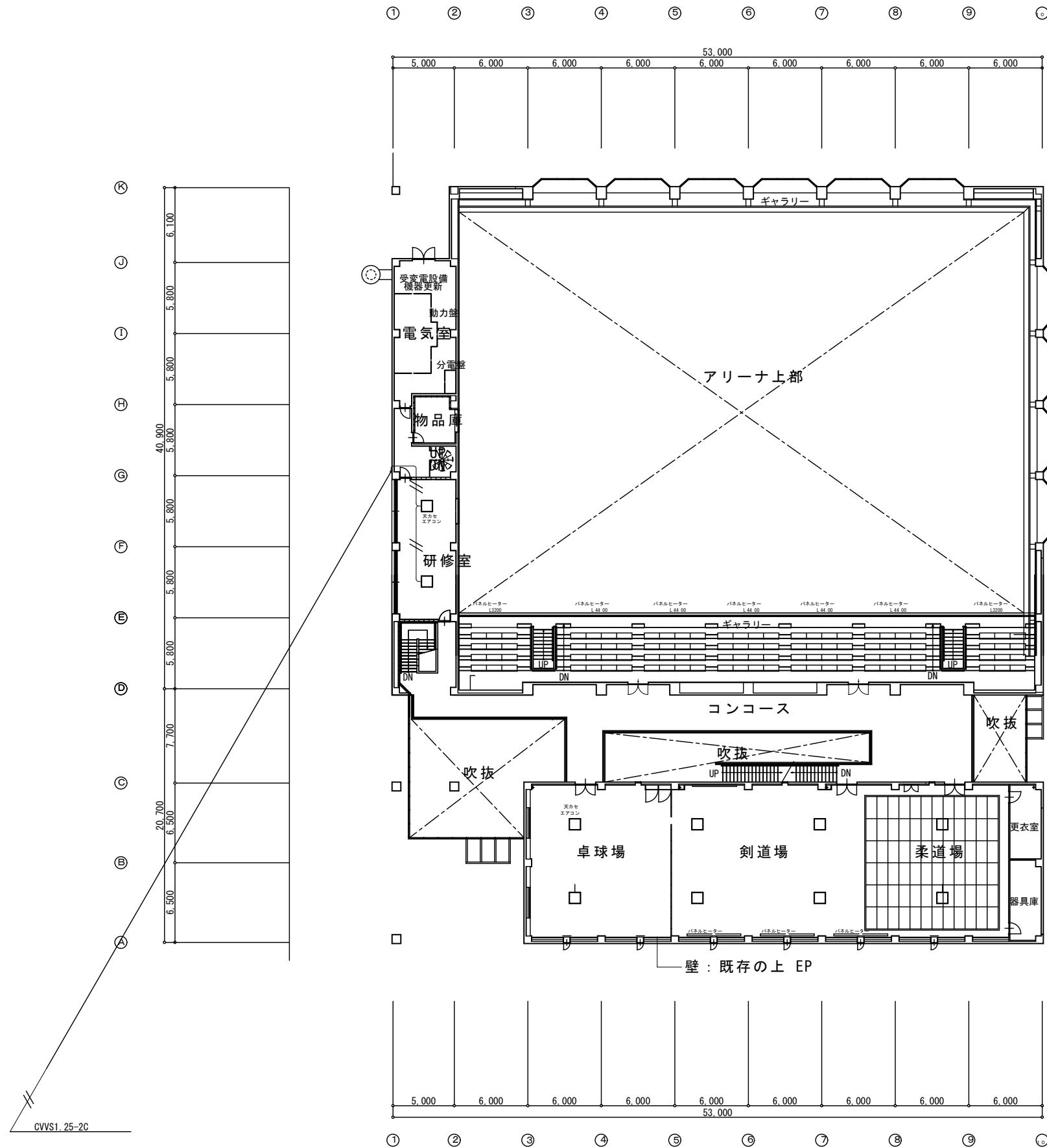
特記事項

- ・室内機の設置位置、及びリモコンのグループ分け、取付位置は監督員と協議の上決定する。
- ・個別リモコンは、室内設置とする。
- リモコン設置場所は打ち合わせにより決定すること。
- ・集中リモコンは、1階事務所設置とする(前年度工事で設置済み)。
- 集中リモコン用配線 CVWS1.25-2Cを示す。
- 室内外機の渡り配線 CVWS1.25-2Cを示す。

□ 既存 既存エアコンを示す。

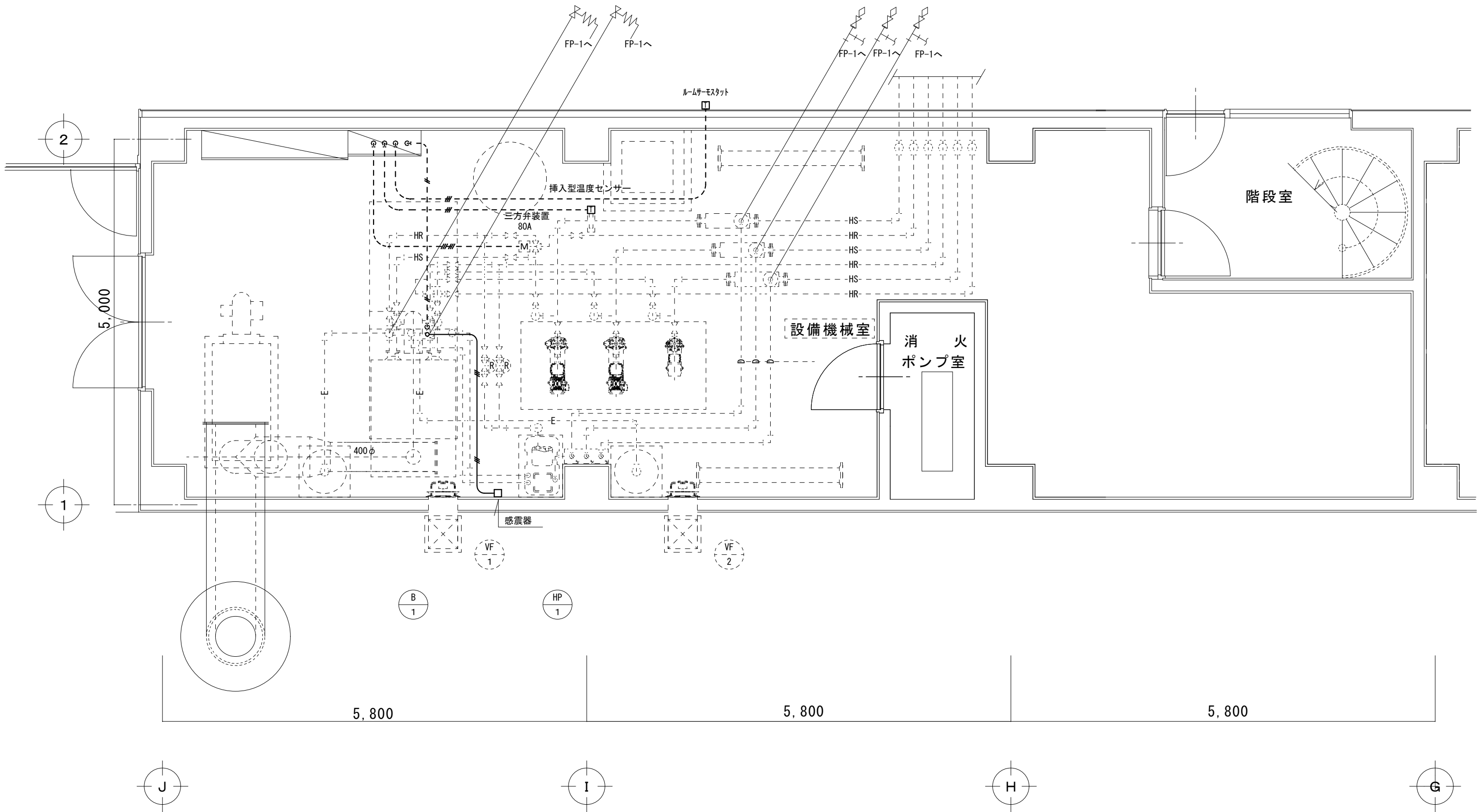
改修後平面図 1 : 400

代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士	216909号 (意匠) 創造設計・アドリエブンク 設計共同企業体 294080号 (意匠)	設計年月日 2024.04.	工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
	代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲 校 正 担 当	図面名称 自動制御設備設備 1階平面図	図面番号 M-117

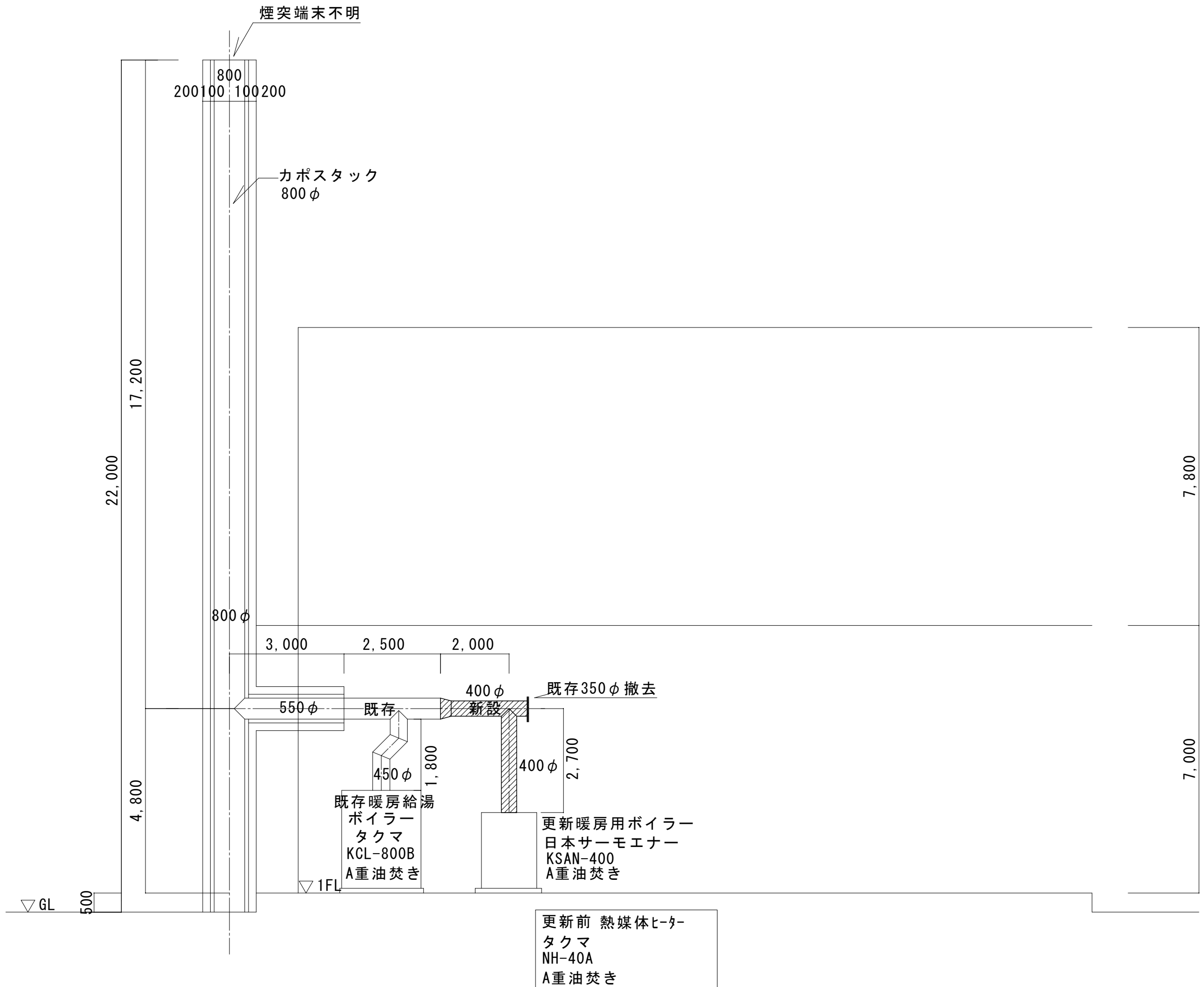


CVVS1.25-2C

	代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体	設計年月日			工事名称	縮尺
	その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)		2024.04.				
		代表者: (株) 創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	査 閲	校 正	担 当	図面名称	図 番 号
						自動制御設備 2階平面図	M-118



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエバンク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日 2024.04.	工事名称 芽室町総合体育館改修工事	縮尺 A1:1/25 A3:1/50
		査 閲 校 正 担 当	図面名称 自動制御機械室平面詳細図	図 面 番 号 M-119



代表となる設計者: 太田 豊 一級建築士 216909号 (意匠) その他の設計者: 菅沼 秀樹 一級建築士 294080号 (意匠)	創造設計・アトリエブク 設計共同企業体 代表者: (株)創造設計舎 管理建築士: 一級建築士登録第216909号 太田 豊	設計年月日	2024.04.	工事名称	芽室町総合体育館改修工事	縮尺	NO SCALE
		査 閲 校 正 担 当		図面名称	煙道設備 (立面)	図 番 号	M-120